

平成27年度 事業報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成27年度は、公益目的事業として、開発途上地域及び災害地域における医療サービスの改善を図るべく医療技術全般に関する技術協力の推進を目的に、医療技術者の育成、専門家の派遣、国際セミナーの開催、災害医療研修、調査研究、広報事業を実施しました。

I. 研修員の受け入れ事業

本年度は、個別研修について医療関連職種21団体協議会の対象分野のうち、医師、臨床検査技師および理学療法士の3分野について10カ国から12名の研修員を受け入れました。これにより、特例民法法人設立以来の修了研修員の累計は102カ国、1,151名となりました。

1. 個別研修

(1) 医師コース

期 間：平成27年11月16日～11月23日

研 修 員：1名

参 加 国：ネパール

案件目標：慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対する呼吸リハビリテーションの技術、技能、知識を向上せしめ、所属機関で実践される。

研修内容：ネパールにおいて草の根レベルで呼吸リハビリテーションの普及に本財団とともに取り組むネパールの医療機関より医師を招へいし、日本の異なる医療機関での呼吸リハビリテーションの紹介及び関係機関の専門家との討論等を行った。

実習施設：独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター、独立行政法人 国立病院機構 東京病院、国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター、国立研究開発法人 国立国際医療研究センター、学校法人 文京学院大学

(2) 理学療法士コース

期 間：平成28年3月1日～3月18日

研 修 員：1名

参 加 国：ネパール

案件目標：慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対する呼吸リハビリテーションの技術、技能、知識を向上せしめ、所属機関で実践される。

研修内容：ネパールにおいて草の根レベルで呼吸リハビリテーションの普及に本財団とともに取り組むネパールの医療機関から理学療法士を招へいし、トレーナーズトレーニングを行った。

実習施設：独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター、独立行政法人 国立病院機構 東京病院、国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター、国立研究開発法人 国立国際医療研究センター、学校法人 文京学院大学、医療法人社団 明芳会 高島平中央病院

2. 集団研修

臨床検査技術分野を対象に、独立行政法人 国際協力機構（JICA）からの委託による研修を実施しました。

「感染症対策のための臨床検査技術の改善 - 感染症の適切な診断のために -」コース

期 間：平成27年9月30日～12月4日まで

研 修 員：10名

参 加 国：ホンデュラス、ラオス(2名)、ベトナム、ミャンマー、ミクロネシア、パラグアイ、エジプト、スーダン、ジンバブエ

案件目標：研修員が、感染症の適切な診断と治療に必要な精度の高い検査技術、及び自国の保健システムの中での臨床検査の役割を踏まえた検査室管理・運営の手法を習得し、説明できるようになることを目標とする。

研修内容：上記案件目標を達成するため下記の3点を重点項目とするカリキュラムによる研修を実施した。

- ・感染症対策に必要な臨床検査の技術と知識
- ・感染症の診断に必要な検査の有効な活用法
- ・自国における保健システム及び感染症の状況に沿った検査室の管理・運営、並びに感染症診療を効率的に進める体制づくりの手法

実習施設：国立病院機構 東京医療センター、済生会横浜市東部病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、東京大学医学部附属病院、東京都済生会中央病院、日本大学医学部附属板橋病院、立正佼成会附属佼成病院

< 修了研修員職種別受け入れ実績（昭和62年10月31日～平成28年3月31日） >

臨床検査技師	416名
診療放射線技師	300名
薬剤師	278名
理学療法士	72名
作業療法士	20名
医師	16名
臨床工学技士・医療機器保守管理	14名
栄養士	10名
歯科技工士	9名
視能訓練士	6名
看護師	4名
柔道整復師	3名
鍼・灸・あん摩・マッサージ・指圧師	1名
歯科衛生士	1名
介護福祉士	1名

合 計 1, 151名 (102カ国)

II. 専門家の派遣事業

JICAの「草の根技術協力事業」としてネパールのカトマンズ盆地における呼吸器疾患患者の早期社会復帰に向けての取り組みとして実施している「呼吸リハビリテーションの普及に関するプロジェクト」に専門家を派遣し技術指導を実施しました。

(1) 第一次派遣

期 間：平成27年8月8日～8月17日

専 門 家：医師 3名、理学療法士 3名

主な活動：トリブバン大学教育病院 研修 バクタプール・プレ研修 FMラジオ放送による啓発活動

(2) 第二次派遣

期 間：平成27年12月12日～12月20日

専 門 家：医師 3名、理学療法士 2名

主な活動：バクタプール郡病院スタッフ及び同郡診療所スタッフを対象とする研修、FMラジオ放送・テレビ放送による啓発活動

(3) 第三次派遣

期 間：平成28年2月6日～2月14日

専 門 家：医師 2名、理学療法士 2名

主な活動：女性保健ボランティア（FCHVs）研修、地域住民セミナー、FMラジオ放送による啓発活動

III. セミナーの開催事業

ベトナム国際セミナー

ベトナムの伝統医療分野で日本の医療技術サービスがベトナムの医療の向上及び人材開発に寄与することを目的に、日本の伝統医療である柔道整復術を紹介しました。

開催日 平成28年3月17日 8時30分～17時30分

主 催 公益財団法人 国際医療技術財団

公益社団法人 日本柔道整復師会

公益財団法人 国際開発救援財団

ベトナム政府保健省

後 援 日本国政府外務省

会 場 首都ハノイ ソフィテルプラザホテル

参加者 195名（日本側22名、ベトナム側173名）

日 本 側 柔道整復師14名

在ベトナム日本国大使館大使他3名

JIMTEF 2名

通訳2名

ベトナム側 国立伝統医学病院・医師76名

政府保健省副大臣・官僚19名

国立医科大学・医師・薬剤師19名

伝統医学療法師15名

一般病院医師・薬剤師等16名

テレビ局等マスコミ関係者28名

IV. 調査・研究事業

1. 調査団の派遣

派遣国：ベトナム

期間：平成27年10月26日～10月30日

メンバー：団長 小西 恵一郎 代表理事
 専門家 西澤 隆廣 公益社団法人 日本歯科技工士会副会長
 森野 隆 公益社団法人 日本歯科技工士会常務理事
 業務調整 依知川 弘太郎 JIMTEFスタッフ

派遣先：ベトナム国立中央歯顎顔病院、バックマイ病院及び市内の歯科技工所
内容：ベトナムにおける歯科技工技術の案件発掘

2. 医療関連職種21団体協議会の開催

医療関連職種団体の代表者が参加し、医療及び関連領域における国際協力を推進するための体制整備の検討や情報・意見の交換を行い、本財団の医療協力事業の強化を図りました。

開催日：平成27年6月23日 会場：KKRホテル東京

構成メンバー

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会	一般社団法人 日本病院薬剤師会
公益社団法人 日本理学療法士協会	一般社団法人 日本作業療法士協会
公益社団法人 日本栄養士会	公益社団法人 日本視能訓練士協会
公益社団法人 日本歯科技工士会	公益社団法人 日本柔道整復師会
公益社団法人 日本歯科衛生士会	公益社団法人 日本臨床工学技士会
公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会	公益社団法人 日本あん摩マッサージ指圧師会
公益社団法人 日本鍼灸師会	日本製薬工業協会
一般社団法人 日本医療機器産業連合会	一般社団法人 日本義肢装具士協会
特定非営利活動法人 診療放射線技師国際協力協会	一般社団法人 日本言語聴覚士協会
公益社団法人 日本介護福祉士会	公益社団法人 日本医療社会福祉協会
一般社団法人 日本臨床心理士会	(加盟順)

V. 災害医療事業

災害医療の専門的な技術・知識を有する医療技術者の育成を図ることを目的に、独立行政法人 国立病院機構 災害医療センターの協力を得て「第5回 JIMTEF災害医療研修ベーシックコース」、「第3回 JIMTEF災害医療研修アドバンスコース」及び「第4回 JIMTEF災害医療研修アドバンスコース」を実施しました。

第5回 JIMTEF災害医療研修ベーシックコース

開催日：平成28年1月10日、11日

会場：独立行政法人 国際協力機構 東京国際センター

参加者：113名

第3回 JIMTEF災害医療研修アドバンスコース

開催日：平成27年12月23日

会場：独立行政法人 国際協力機構 東京国際センター

参加者：40名

第4回 JIMTEF災害医療研修アドバンスコース

開催日：平成28年2月21日

会場：独立行政法人 国際協力機構 東京国際センター

参加者：51名

VI. 広報事業

医療関連職種21団体協議会所属団体主催の学会への参加や後援、JIMTEFホームページを通じて本財団事業を各方面へ紹介し、本財団の果たしている役割と成果について各界各層の理解促進を図り、社会の信頼と共感を得られるよう努めました。

(1) 学会でのJIMTEF広報活動

(2) ホームページの更新